

- 問1 15世紀から16世紀にかけての琉球王国は、自国の産物だけでなく、東南アジアの香辛料や中国の絹織物などを仕入れ、日本や朝鮮などの各地へ転売することで利益を得ていました。このような貿易の形態を何と呼ぶか答えなさい。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 中継貿易                      2. 勘合貿易                      3. 朱印船貿易                      4. 南蛮貿易
- 問2 琉球王国の拠点であった首里城とその歴史的背景に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 江戸幕府の鎖国政策の影響を強く受け、海外との貿易を完全に禁止したため、首里城は軍事拠点としての機能のみを重視して設計された。
2. 室町幕府の直接の支配下に置かれ、足利將軍家の別邸として首里城が築かれたことで、京の文化がそのまま沖縄全土に広まった。
3. 中国の皇帝に貢物を贈る朝貢貿易を行いながら、17世紀初めからは日本の薩摩藩による支配も受けという、独自の二重の支配体制の中にあった。
4. 明治時代の廃藩置県が行われるまで、一度も他国の干渉を受けることなく独立を維持し、独自の「琉球文字」のみを公用文に使用していた。
- 問3 室町時代に行われた日明貿易（勘合貿易）において、日本が明から生糸や絹織物とともに大量に輸入したものは何ですか。当時の日本国内では貨幣経済が発展しており、その取引に欠かせないものとして受け入れられたものを次から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 金                      2. 硫黄                      3. 刀剣                      4. 銅銭
- 問4 15世紀に尚氏が統一し、アジア諸国との交易で繁栄した琉球王国のその後の動向について、17世紀初頭に起きた出来事の説明として正しいものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 島津氏が率いる薩摩藩の侵攻を受け、その支配下に入れられた。
2. 江戸幕府の鎖国政策により、すべての海外貿易を禁止された。
3. 豊臣秀吉の軍勢による攻撃を受け、首里城が落城して完全に滅亡した。
4. 宗氏が率いる対馬藩の侵攻を受け、日本との独占的な貿易窓口となった。
- 問5 室町時代には農民たちが自衛や用水の管理のために惣と呼ばれる自治組織を結成しました。この惣村の成立背景と当時の農業の様子について述べた文として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 牛馬の利用や水車の普及、二毛作の広がりによって農業生産力が向上し、農民の結びつきが強まった。
2. 弥生時代以来の高床倉庫による収穫物の保管が主流となり、領主による直接支配が強化された。
3. 二期作が全国に定着したことで、年2回同じ米を収穫できるようになり村の自立が進んだ。
4. 江戸時代に登場した千歯こきなどの脱穀用具が普及し、全国的に大規模な新田開発が進められた。
- 問6 室町時代に大きな力を持っていた「座」による商売の独占は、戦国時代になると経済の活性化を妨げる障壁と見なされるようになりました。織田信長らが城下町の繁栄を目指して実施した、座の特権を廃止し自由な取引を認める政策を何といいますか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法                      2. 株仲間の結成                      3. 寛政の改革                      4. 楽市令（楽市・楽座）
- 問7 足利義満が行った外交政策と国内統治に関する記述として、歴史的な事実と一致するものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 分国法を制定して守護大名の権限を制限し、幕府の直轄領を全国に拡大した。
2. 関所を撤廃して楽市・楽座を導入し、自由な商工業の発展を促した。
3. 元（モンゴル帝国）の侵攻を退けた後、博多に防塁を築いて防衛を強化した。
4. 明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、朝貢の形式をとって貿易を行った。
- 問8 室町時代、中国の明との間で正式な国交を樹立し、日明貿易を開始した人物は誰ですか。この貿易によって大量の銅銭が日本に持ち込まれ、国内の貨幣経済が発展する契機となりました。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 足利義満                      2. 平清盛                      3. 北条時宗                      4. 豊臣秀吉
- 問9 中世の農村において、農民たちが自律的な自治組織である「惣」を形成し、運営していた際の様子として最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 寄合と呼ばれる会議を開いて村独自の掟を定め、水利の管理や領主への交渉に団結してあつた。
2. 幕府によって5戸一組のグループに分けられ、年貢の納入や犯罪の防止について連帯責任を負わされた。
3. 明治政府から発行された地券を所有することで、個人の土地所有権を公的に証明し合った。
4. 律令制度のきまりに基づき、政府から口分田を与えられて6年ごとに班田収授の法に従った。
- 問10 鎌倉時代から室町時代にかけて、西日本から全国へと広がった農業技術の説明として正しいものはどれですか。この技術の普及により、農業生産力が大きく向上しました。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 同じ土地で一年に二度、米を栽培する二期作
2. 牛や馬にひかせた鉄製の鍬で深く耕耕する深耕
3. 米を収穫した後の田で、裏作として麦などを栽培する二毛作
4. 脱穀のために、歯の間に稲を通す千歯扱の活用
- 問11 日本の歴史年表において、1192年に征夷大將軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物と、1467年に有力な守護大名の勢力争いなどが原因で始まり、その後約11年間にわたって京都を中心に続いた内乱の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 源頼朝と観応の擾乱                      2. 源頼朝と応仁の乱                      3. 足利尊氏と応仁の乱                      4. 源義経と応仁の乱
- 問12 室町時代、京都などの都市部において、酒の醸造や質屋（倉庫業）を営みながら高利貸しを行って富を蓄え、幕府の重要な財源にもなった金融業者の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 酒屋・土倉                      2. 荘園                      3. 株仲間                      4. 殖産興業
- 問13 室町時代の惣村において、村の秩序を維持するために農民たちが自律的に定めた社会的なルールを「村の掟」といいます。この掟の内容や背景として最も適切なものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 諸国の百姓が武器を持つことを禁じ、農具として差し出させることで、一揆を未然に防ごうとする目的で定められた。
2. 江戸幕府が農民の生活を細かく制限し、五人組を通じて相互に監視させるために全国共通の法令として発布された。
3. 家を売却した際に村へ一定の金を納めることや、掟に違反した者を宮座から除名するといった、村独自の罰則が含まれていた。
4. 大名が家臣を城下町に集めるため、本拠地である館のほかにも勝手に城を構えてはならないという禁止事項が記されていた。